

平成30年度

市民と議会をつなぐ会

～市内16地区での意見交換会～

実施報告書（下巻）



平成30年8月20・21・28・29日・9月8日・10月5日開催

発行：令和元年5月 北上市議会

～はじめに～

北上市議会では例年、市民の皆様の御意見を広く伺い、議会の活動を知ってもらう目的から、「市民と議会をつなぐ会」として、議会からの活動等の報告及び市民の皆様との意見交換会を行っています。平成30年度は、平成29年度と同様に市内16地区で実施しました。

会は大きく2部の構成で行いました。前半部では平成29年度に議会から市当局に対して行った政策提言の概要とその後の状況を報告しました。後半部では、平成30年度、議会で調査検討を行っていた議員報酬と定数のあり方について、議会での検討状況を説明したうえで、参加者の皆様と意見交換を行いました。

この報告書（下巻）では、

- ・参加者アンケートの集計結果
- ・政策提言の内容とその後の状況についての説明資料
- ・アンケートや会の中でいただいた意見・質問等及び議会からの回答

を御報告します。

※平成30年11月に発行した報告書（上巻）では、

- ・会の開催状況
- ・議員報酬と定数のあり方に関する検討状況の説明資料
- ・意見交換でいただいた意見及び質問等
- ・質問等に対する議会からの回答

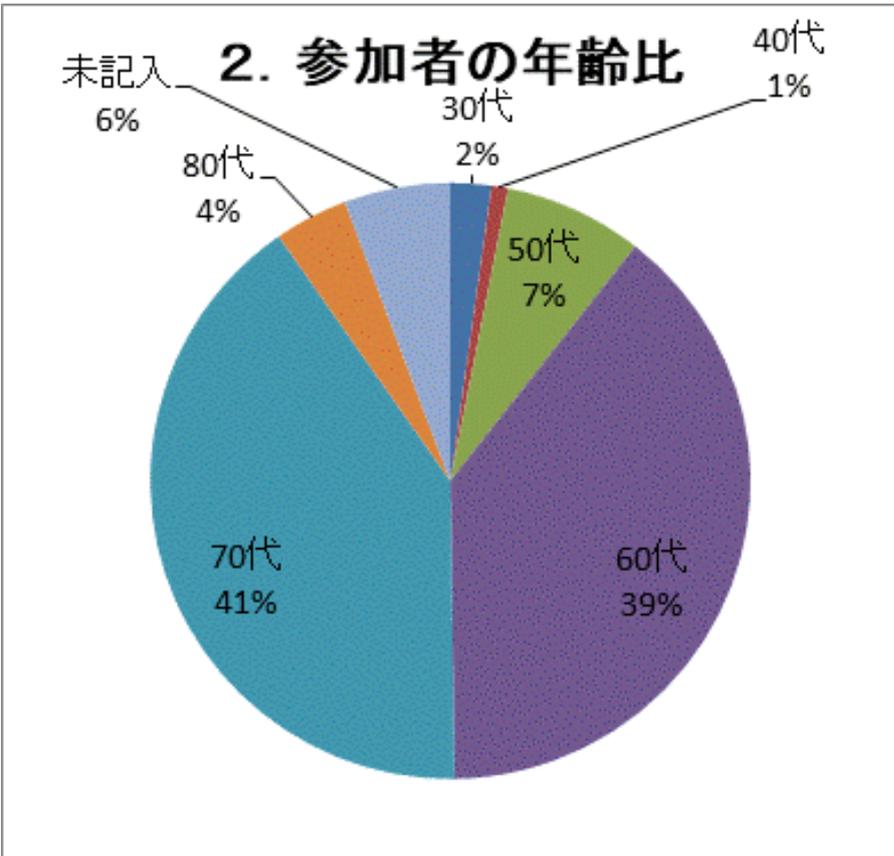
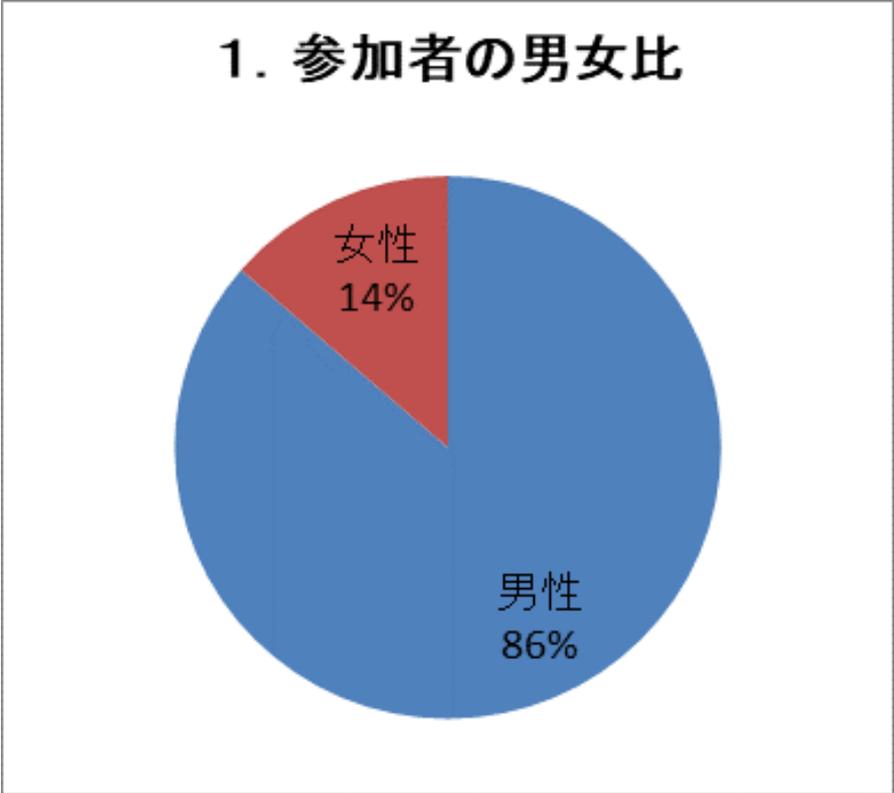
を御報告しています。

目次

1.参加者アンケートの集計結果	1
2.政策提言の内容とその後の状況についての説明資料 ----	4
3.いただいた意見・質問等に対する議会からの回答	12
(1) 政策提言のテーマに関すること	12
(2) 市民と議会をつなぐ会に関すること、 議会活動に関すること	25

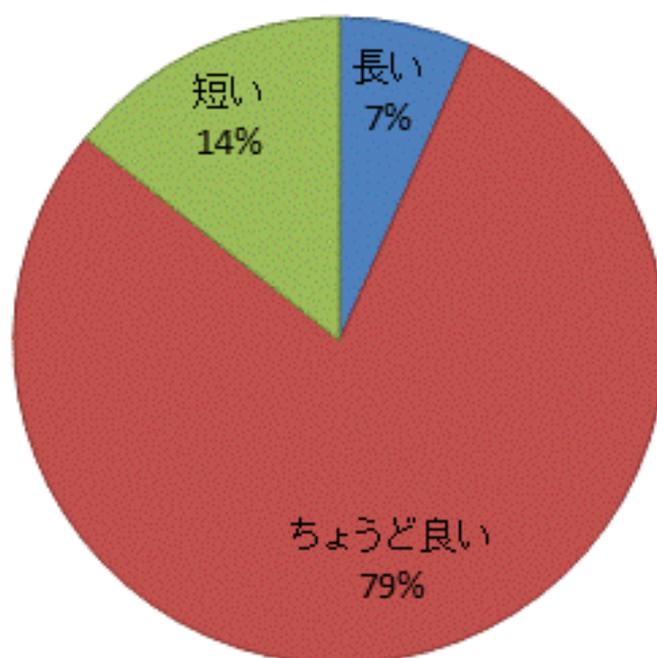
1. 参加者アンケートの集計結果

(1) 参加者の構成

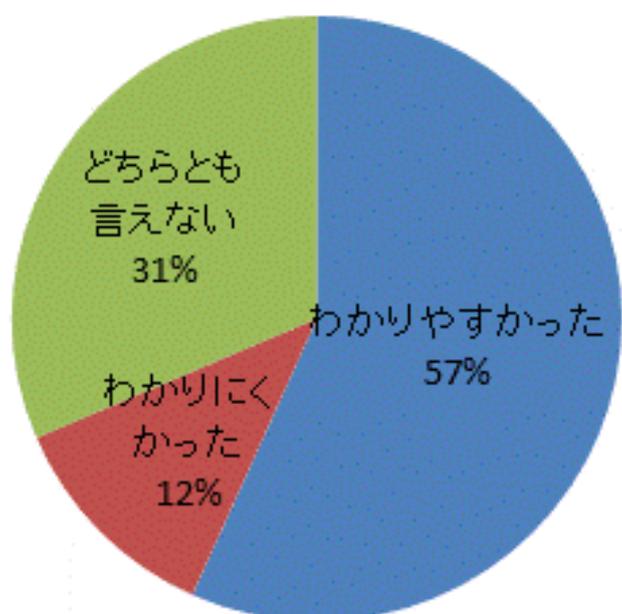


(2) アンケート結果

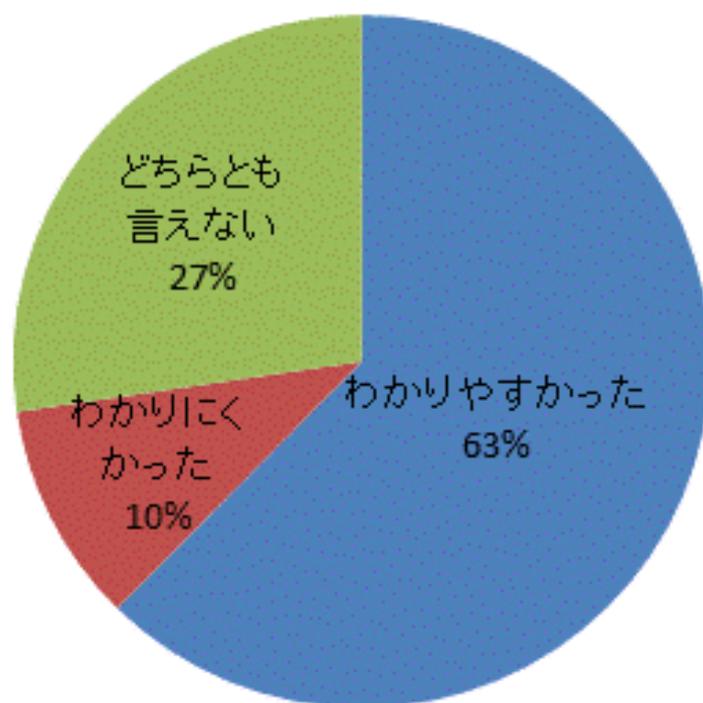
Q1.所要時間について



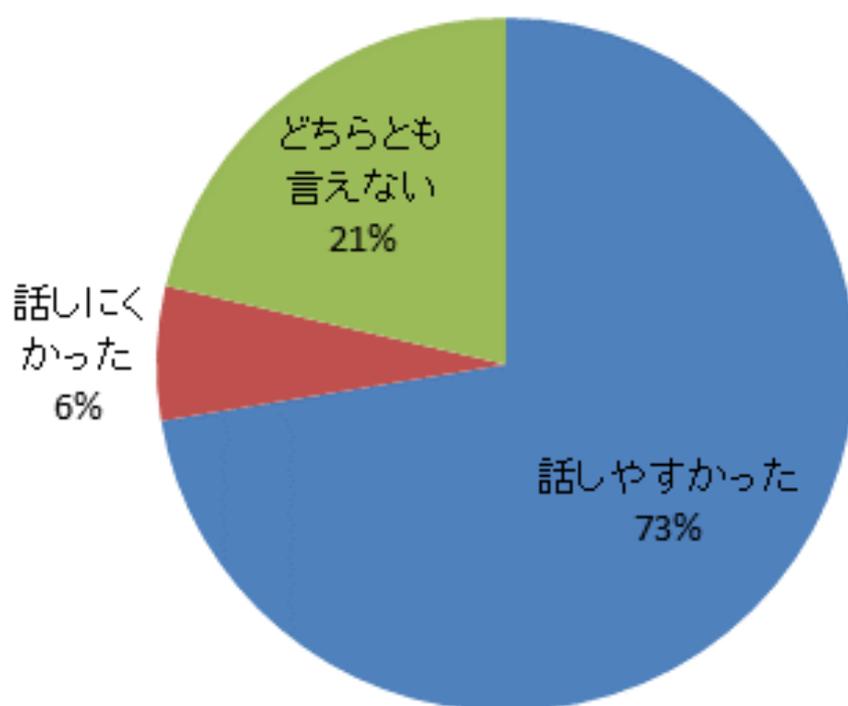
Q2.政策提言のその後に関する説明について



Q3.報酬・定数に関する説明について



Q4.ワークショップの進行について



2. 政策提言の内容と

その後の状況についての説明資料

平成28年度の市民と議会をつなぐ会で市民の皆様からいただいた御意見等を参考に、北上市議会では、平成29年度に市当局に対して4つの政策提言を行いました。

平成30年度の市民と議会をつなぐ会では、4つの政策提言の概要と、提言後の市当局の取り組み状況を説明しました。次ページ以降には、この説明で配布した資料を掲載しております。

※ご注意

掲載資料は平成30年8月下旬から10月上旬の期間に開催した市民と議会をつなぐ会で配布したものであり、資料の内容や日付は配布時点の情報です。

議会から市長に提出した 提言書の内容とその後の状況

昨年度、議会では
4つの提言を行いました

① インフラ資産マネジメントに係る市民参加についての提言 (9月)

② 北上市民の移動手段確保のための『(仮称)北上市地域公共交通再編実施計画』の策定についての提言 (9月)

昨年度、議会では 4つの提言を行いました

③ 総合相談・支援体制についての提言
(12月)

④ ごみ減量化・リサイクル推進についての提言
(3月)



< 市民との意見交換 >

- ・ 市民と議会をつなぐ会
- ・ 関係団体等との意見交換会



お聞きした市民の意見を
提言書に反映させました



公共施設の統合や廃止については、早い段階から情報共有していくべき。

提言①

計画の策定にあたっては、案を作成する前の段階から、市民との意見交換会等を開催するなど、住民参加による計画策定に取り組み、策定後も丁寧な住民説明会の継続に努めること。

その後、提言はどうなったのか？

市当局の対応

平成30年1月から、公共施設を考える市民会議の開催と、市民アンケートが行われました。6月には、公共施設の統廃合や複合化などの方針である『建築物最適化計画における基本方針案』が示されました。市では公共施設のマネジメントを重要課題と位置づけ、10月頃に市民説明会を計画しています。



乗合バスやコミュニティバスは、路線の思い切った見直しや増便が必要と思われる。

提言②

路線バスの経路を見直すこと。コミュニティバスは乗車時間が長時間化しているため、利便性向上を検討すること。乗合タクシーサービスの導入の可能性を検討すること。

その後、提言はどうなったのか？

市当局の対応

路線バスの経路再編では、北上済生会病院の移転に合わせ、運行事業者と協力するとしています。コミュニティバスは、路線を分割するなど乗車時間の短縮を図り、新たなバス停も設置するとの回答がありました。乗合タクシーについては、地域内にとどまらず、まちなかまで移動できる地域もできました。



複合的な問題を抱える世帯が増加し、複雑化することで支援が困難になっている。

提言③

総合相談窓口を設置すること。家族全体への継続した見守り体制を確立すること。複合的な課題の対応では、市が全体を調整すること。地域と協働した予防・支援体制を確立すること。

その後、提言はどうなったのか？

市当局の対応

総合相談事業に関しては、現時点で総合相談窓口の設置予定はありませんが、地域包括支援センターの機能を強化し、新たに生活支援コーディネーターを順次配置するとしています。今後については、今年度に策定予定の地域福祉計画において、総合相談体制について検討するとの回答がありました。



ごみ減量が進まない理由は、市の指導が不足し、分別が徹底されないからと思われる。

提言④

事業系ごみの実態に合った取り組みを行うこと。様々な世代等を考慮して啓発すること。取り組み成果を可視化すること。協働によるごみ発生抑制の仕掛けづくりを行うこと。

その後、提言はどうなったのか？

市当局の対応

ごみ減量とリサイクル強化を市の重要課題の1つとしています。事業系ごみの分別を指導するためパンフレットを作成するほか、ごみの排出量を公開し、減量の市民貢献度を示すとの説明がありました。ごみの発生抑制では、料飲店組合等との協働で「30・10運動」を展開し、食品ロス削減に取り組む計画です。



説明は以上です。

議会からの政策提言について
取り上げてほしいテーマがあれば
お聞かせください。



3. いただいた意見・質問等に 対する議会からの回答

(1) 政策提言のテーマに関すること

市民と議会をつなぐ会では、参加者からのご発言やアンケートにより、政策提言に関するたくさんのご意見をいただきました。今後の政策提言に向けて、各常任委員会が主体となって取り組む際に活用いたします。

次ページからは、議会からの回答として、いただいたご意見・質問等のうち、議会が平成30年度に取り組んだ施策評価の結果と、各常任委員会で御意見等に関連する内容を審議・調査した結果をお知らせします。また、いただいたご意見等を一覧でご紹介します。

(ご意見等) ・地域づくり問題への参加・ご意見有れば。

・市議会が開催されていますが、各地域課題が反映されていないではないか。

<関連する施策に対する評価結果(担当:総務常任委員会)>

施策 6-2-1『地域の自主的な活動の推進』

【成果の定義】

これまでそれぞれの地域が育ててきた個性や資源を活かしながら、地域が進めてきた取り組みの成果を引き継ぎ、充実している。また、地域を最も知っている住民自ら地域の将来がどうあるべきか考え、行動していけるよう連帯感を醸成し、地域の実践力が向上している。また、指定管理者制度により交流センターが地域づくりの拠点施設として位置付けられたことにより、特色ある地域づくりが進展し、コミュニティの醸成が図られる。

評価:概ね順調

各指標とも前年度の実績を下回っているが、指標③「交流センター年間利用者数」は市の人口が減っている中でも最終目標を上回っており、指標の実績から判断すれば施策の推進度は概ね順調と考える。ただし、指標①「交流センター生涯学習参加者率」、②「地域が主体となって行う分の地域計画の進捗率」、③「交流センター年間利用者数」の実績値は市全体の値となっているため、地域によっての差がわからず、特色ある地域づくりが進んでいる地域がどれだけあるのかが判断できない。実際には地域差があると思われるので、地域別に実績値を出し、達成度を評価する必要がある。

また、指標④「地域づくり組織等が独自のHPを開設している地区数」については、地域が発信する情報を見て、どれだけの人が地域づくりに参加したのかが重要であり、それを分析・評価できていないことが課題である。

執行部の評価 平成28年度:概ね順調 平成29年度:概ね順調

各事業の評価

事業名	方向性	委員の評価
地域計画策定事務	継続	地域計画のうち、地域主体分については、各地域の積極的な取り組みにより事業が進展しているものと考えられる。 一方、市等への要望事業については、総合計画の実施計画に反映することとしているが、要望事業の位置づけが明確に理解されていないことや、予算確保の面からなかなか実現しないことから、地域には『つくられている』といった不満が生じている。 要望事項も大切だが、未実施の要望事項をくりかえし出すだけでは地域計画が形骸化する。次期計画の策定にあたっては、自治基本条例等のまちづくり関係条例の趣旨に鑑み、より地域の主体性が高まる地域計画とするための仕組みが必要である。
地域づくり交付金	当面 継続 ※実態の検証が必要	地域の自主的な取り組みを推進するために、地域活動を財政的に支援する地域づくり交付金は必要である。 評価方法について、交付金を活用してどれだけ事業が実施されたかだけでなく、それらの取り組みによって地域づくりにどのような成果・効果があったかを評価する必要があるのではないかと。 方向性については、財政支援を拡充すべきとの意見、交付金の使途制限をさらに緩和し使いやすくすべきとの意見があった一方、平成26年度に交付金の見直しを行ったばかりなので様子を見る必要があるとの意見があった。
地区交流センター運営事業	継続	地域の活動拠点として、交流センターの役割は今後ますます重要になる。 職員の負担が増加していることから、体制強化や処遇改善のため、指定管理料は人件費算定額の増額が必要である。あわせて、生涯学習事業・地域づくり事業・スポーツ推進事業等の事業が多く、その事業をこなすことに精いっぱいという実態もあることから、地域活動の見直しも必要である。

(ご意見等) ・医療費無料化を18歳までにしてほしい。

・第3子欲しいが、お金がかかるので諦めなければならない！

<関連する施策に対する評価結果(担当:教育民生常任委員会)>

施策 1-1-2 『子育て家庭等への支援』

【成果の定義】

児童手当や児童扶養手当等の支給のほか、医療費の助成や保育所保育料の軽減などを行うことで経済的負担の軽減が図られて、安心して子育てすることができている。

援助が必要な母子家庭等が自立し安定した生活を送ることができている。

評価:遅れている

児童医療費給付事業・乳幼児・妊産婦医療費給付事業・ひとり親家庭医療費給付事業等は、全国では、対象者の子どもや親を公平・平等に支援する視点から所得制限や自己負担を廃止している自治体も多い。当市は、転入世帯も多いことから自治体格差は解消すべきである。

小児インフルエンザ予防接種助成事業は、子どもの貧困が叫ばれる中、一部助成ではなく、全額助成へと拡充が必要である。

当局の評価 平成28年度:遅れている 平成29年度:概ね順調

各事業の評価

事業名	方向性	委員の評価
児童医療費給付事業	拡充	取り組みとしては良いが、所得制限と自己負担について県内他市町村との格差是正のため、拡充が必要。
乳幼児・妊産婦医療費給付事業	拡充	
ひとり親家庭医療費給付事業	拡充	
小児インフルエンザ予防接種助成事業	拡充	取り組みとしては良いが、自己負担をなくすように拡充するとともに、周知徹底が必要。
子育て世帯住宅取得支援事業費補助金に関する事務	継続	適切に事務が行われているため、継続して実施すること。
子育て支援短期利用事業	継続	利用はなかったもののニーズは見込まれるため、継続して実施すること。周知不足が考えられるため、PR方法の見直しが必要。
母子家庭等支援事業	継続	母子家庭等の生活負担軽減につながっており、適切に取り組みが行われているため、継続して実施すること。
子どもの生活実態調査事業	継続	子どもの貧困対策につながる事業であり、適切に取り組みが行われているため、継続して実施するとともに、ノウハウの蓄積のため職員が調査分析することの検討も必要。
私立幼稚園就園奨励費補助金	継続	保護者の保育料負担の軽減につながっており、適切に取り組みが行われているため、継続して実施すること。
幼稚園バス運行事業	継続	園児の安全な通園に不可欠であり、適切に取り組みが行われているため、継続して実施すること。
子育て世帯住宅取得支援事業費補助金	拡充	子育て世帯の定住促進及び経済支援について成果をあげているが、今後も継続的にニーズが見込まれるため、3か年限定ではなく長期的に実施するように拡充が必要。

(ご意見等) ・農業の課題を積極的に取り上げてほしい!!

・農地の借り手がない。兼業農家でもやれる施策を考えてほしい。

<関連する施策に対する評価結果(担当:産業建設常任委員会)>

施策3-4-4『農林業の担い手等人材の育成支援』

【成果の定義】

- ・地域農業の中核となる認定農業者、農業生産法人、集落営農組織など多様な担い手が確保されていること。
- ・森林の保全を進め、安定した木材供給を行うため、林業従事者が確保されている。

評価:概ね順調

農林業の担い手不足が全国的な課題であるなか、新規就農者数、認定農業者数を一定数確保している点は評価したい。

ただし、林業に係る事務事業等において、当局の評価の中で一部、課題認識が希薄と思われる部分があった。再度、現状と将来のあるべき状況を比較し、今後の事業を計画する必要がある。

当局の評価 平成28年度:概ね順調 平成29年度:概ね順調

各事業の評価

事業名	方向性	委員会の評価
北上地方生活研究グループ連絡協議会補助金	継続	会員数減少の原因分析をしたうえで、イベント等を通じての会員獲得が求められる。また、農産物販売イベント等のPRが不足していると思うので、PRの強化も必要である。
水産振興事業事務	継続	刺し網採捕数量等、関連指標が順調に推移してきており、内水面漁業振興が継続的に図られている。引き続き継続が必要である。
淡水漁業振興事業費補助金	継続	溪流釣り・アユ釣り等の交流人口増のために有効に機能しており、継続が望ましい。
和賀川遊漁振興事業費補助金	継続	H29年度のイベント参加者が前年度に比して100人程減となっている点については、原因把握が必要と考えるが、総じてイベントは好調と捉える。シティプロモーションの一環として更なるPRを望む。
口内地区新規就農プロジェクト推進事業/事業費補助金	継続	九条ねぎの販路拡大・口内地区の地域活性化といった成果につなげるために、地域おこし協力隊の活動成果については随時検証していく必要がある。
林業関係団体に関する事務	継続	同事業の当局評価が「問題・課題なし」とされている点が心配である。林業分野における課題について更なる精査・検討が必要と考える。
森林整備地域活動支援事業	拡充	実績に乏しく、十分な事業実施がなされているとは言い難い。実施体制を拡充・整備する必要がある。
北上市認定農業者連絡協議会補助金	継続	参加者の固定化がみられる。原因の解明及び改善が必要である。
新規就農総合支援事業	拡充	新規就農者のニーズ把握が不足しており、把握のための調査活動等が求められる。

<前のページから引き続き>

事業名	方向性	委員会の評価
岩手県立農業大学 校後援会負担金	継続	事業趣旨、内容ともに問題ないものと捉えるが、県立学校への支援を、「後援会」負担金という名目で行うのは、私的団体への支援と誤解される可能性がある。名目の変更を検討する必要がある。
農業後継者育成対 策事務	継続	新規就農相談会での相談実績等、一定の成果はみられる。若い農業者の獲得・育成のためにも継続が求められる。
北上市農業再生協 議会負担金	継続	当局の課題認識(農業の新規就農と担い手確保)は妥当であると考え。農業再生協議会の活動に関して、積極的に情報収集のうえ、活動内容を把握していく必要がある。
農業次世代人材投 資資金	拡充	新規就農者を増やすための有効な資金であるが、受入経営体の不足が課題である。課題解決の方法を調査研究のうえ、継続する必要がある。
農業委員活動 交付金	継続	研修活動等の開催回数は評価できるが、新体制に移行してからは日が浅く、今後の取組みが期待される。



- (ご意見等) ・公共施設とはいえ、学校は建ててから一度も外壁や屋根を塗り替えていない所もある。雨漏りもある。避難所ともなっておりきちんと整備しておくべき。
- ・若者が集まれるような施設を考えてほしい。
 - ・運動施設の管理をしっかりやってほしい。

<関連する内容を審査・調査した結果(担当:総務常任委員会)>

平成29年3月通常会議では、「今後60年間に見込まれるコストは、修繕費用と更新費用の合計で年平均22億円と見込まれているが、インフラ資産整備の財源確保をどのように考えているのか」との一般質問を行い、当局からは「平成30年度中に今後必要な公共施設の量や機能を定めた建築物最適化計画を策定することとしている。あわせて財源の確保の検討を進めることとする」との答弁がありました。

平成29年9月の総務常任委員会からの政策提言「インフラ資産マネジメントにかかる市民参加について」では、「早期に住民との情報共有に取り組み始めることが求められる」ことや「計画を策定して終わりではなく、住民と問題意識を共有するための継続的な取り組みを期待します」との提言を示しました。

平成30年6月には「インフラ資産マネジメント劣化調査の結果及び最適化計画の策定」について当局より説明を受けております。

平成30年8月には神奈川県秦野市で「公共施設再配置の取り組みについて」視察を行い、現状の把握方法や施設の有効活用の方法等について研修を行って来ました。

平成30年10月議会全員協議会では、インフラ資産マネジメントに関する建築物最適化計画における実施計画(案)について協議を行いました。

平成31年1月議会全員協議会では、インフラ資産マネジメントに関する建築物最適化計画における実施計画(案)について当局の説明会開催に伴い修正した内容について協議を行いました。

議会では、人口減少社会も見据えながら、適切な施設の維持管理及び更新が行われているか、使いやすい施設となっているかについて、今後も注視していきます。

(ご意見等) ・和賀西小の統合に関して、和賀西小学校の建物を利用しない理由は何か。

・北上市教育委員会が進めている案（堅川目運動場に統合校を新設）に強く賛成します。

・最初から耐震不足だから西小との統合ありきの話になっている。 など

<関連する内容を審査・調査した結果（担当：教育民生常任委員会）>

平成29年度に実施した耐震診断の結果、笠松小は文部科学省が定める耐震基準に満たないことが判明しました。校舎は木造で築約60年経過していることから、継続して使用するためには耐震補強工事に加えて、長寿命化工事も必要となります。しかし、将来的な建て替えを検討する時期も近いため、当局はこのタイミングでの建て替えが妥当と判断しました。併せて、笠松小と和賀西小の児童数が減少傾向であることから、2校の統合についても検討しました。

平成30年6月1日の議会全員協議会で、当局は統合小の校舎を用地取得や造成が不要である堅川目運動場に建設する素案を示し、同年7月からは和賀地区自治協議会及び保護者で構成する「統合を考える会」での協議や、地域・保護者への説明会などを行ってきました。

平成31年3月22日の議会全員協議会で、当局からは次のとおり報告がありました。

- ・「統合を考える会」での協議の結果、統合すること自体への理解は得られたが、統合小学校の設置場所について堅川目運動場に新設する案と、和賀西小校舎を利用する案で意見が分かれ、期限としていた平成31年3月までに結論がまとまらなかったため、現時点での統合は困難との判断に至った。
- ・協議結果を受けて、当局ではやむを得ない結論として笠松小単独で堅川目運動場に建て替える。

この報告内容に対する調査として、教育民生常任委員会では平成31年4月25日に、当局への質疑を行い、当局からは、次のとおり説明がありました。

- ・笠松小学校を単独校で建設した場合と統合校で建設した場合で、校舎の規模（教室数など）は同じだが、単独校の場合は国庫補助額が低くなること、及び、仮設校舎の建設も必要となることから、統合校を建設するよりも市の負担は2億円以上の増となる、
- ・市の経費負担が増えるとしても、現時点で統合できる状況ではないことから、児童への影響がなるべく少なくなるよう、単独校として新校舎の整備を進めていく必要がある。
- ・将来的な統合については、地域全体で合意が得られるような、長い時間をかけて協議していく必要があると考える。

(ご意見等) ・空き家がどんどん増えてきている。抜本対策を早急に現在の空き家対策よりもっと強固にしていかなければ大変！これからも高齢化の進行が早まってくることと思う。 など

<関連する内容を審査・調査した結果(担当：産業建設常任委員会)>

空き家問題は全国的な課題となっており、本市においても例外ではありません。これまで、市では市内全域の空き家の外観調査を約2千件行ったほか(平成28年末)、平成27年度に「北上市空き家等対策計画」を策定し、平成28年度には空き家に対する市の措置・体制等を定める「北上市空家等対策条例」を施行しました。

「北上市空き家等対策計画」は、空き家の ①適切管理・発生予防 ②利活用の促進 のほか、 ③著しく危険な空き家等への対応 の3つを基本方針に策定されており、この計画に則り各種施策が行われているところです。

具体的には、不動産の専門家が相談受付を行う **空き家相談会** の開催や、売却・賃貸物件をインターネット上で紹介する **空き家バンク** の設置、また、空き家の所有者が空き家の改修・解体工事のために市内金融機関のローンを利用した場合の利子を補助する **空き家対策工事ローン利子補給補助金** 等の事業を行っています。

このうち、空き家対策工事ローン利子補給補助金については、平成30年9月に行われた決算審査において、「平成29年度の補助件数が当初の見込みである20件に対して、3件と少ない。利子に限った補助では不十分なのではないか？」といった内容の質疑が出されました。これに対し当局からは「現在行っている同補助金の成果を踏まえたうえで、今後のあり方について研究する。」との説明がありました。



ご意見等一覧(政策提言テーマ関連)

次のとおり、たくさんの御意見等をいただきました。

このうち議会からの回答がある御意見等を赤枠で囲っています。

回答は赤枠に記載のページをご覧ください。

No	テーマ分類	詳細
1	あじさい都市	16のアジサイ地域のそれぞれのあり方はどうか。
2	あじさい都市	現在の高橋市政の目玉であるあじさい都市づくりについて、進んでいるか否か？市議会で取り上げる議員が少ないように思う。市政座談会でも現状の進捗の説明がなされず、事業の中止を含めて、市を追及してほしい。
3	あじさい都市	議員から見て「あじさい都市」をどのように評価しているのか。
4	地域づくり	地域づくり問題への参加・ご意見有れば
5	地域づくり	市議会が開催されていますが、各地域課題が反映されていないではないか。交流センター単位で年一つ位取り入れてはどうか。
P.13で回答		
6	地域づくり	地域は個別の課題があるが、同じ提言はダメだと言われる。
7	チャレンジデー	チャレンジデーはいらないのではないかと？あり方は今のままでよいのか？
8	公共施設	公共施設とはいえ、学校は建ててから一度も外壁や屋根を塗り替えていない所もある。雨漏りもある。避難所ともなっており、きちんと整備しておくべき。
P.17で回答		
9	公共施設	若者が集まるような施設を考えてほしい。
10	公共施設	運動施設の管理をしっかりとってほしい。運動場は市民が使いやすくしてほしい。
11	公共施設	公民館のクーラー設置補助を考えてほしい。
12	防災	防災について。和賀川堤防の安全確保を調査検討していただきたい。
13	防災	一昨年の台風10号での被害や西日本豪雨のような局地的な雨が夏油高原に降った場合のハザードマップを作してほしい。小さな沢や夏油川がどの程度の水位になって、浸水がどの程度になるのか知りたい。地域の防災計画が立てられない状況である。
14	防災	河川の草木が大きくなっていて、異常気象で危険なので困っている。
15	空き家問題	空き家がどんどん増えてきている。抜本対策を早急に現在の空き家対策よりもっと強固にしていかなければ大変！これからも高齢化の進行が早まっていくことと思う。
P.19で回答		
16	空き家問題	空き家について
17	空き家問題	空き家の活用(借家として市が管理)。
18	空き家問題	空き家の周辺の草が多く、角にある空き家は車が来るのが見えにくく危ない所もある。

ご意見等一覧(政策提言テーマ関連)

次のとおり、たくさんの御意見等をいただきました。

このうち議会からの回答がある御意見等を赤枠で囲っています。

回答は赤枠に記載のページをご覧ください。

No	テーマ分類	詳細
19	空き家問題	ひとり各自治体の問題ではなく、少子高齢化、家族等の希薄化などと絡む国の問題である。国に働きかけて、①解体後、固定資産税は建築面積の部分は従前どおり又は非課税とする～などの税法改正と、②所有者不明、又は特定できない場合、3か月の公告後、国の経費で管轄自治体が解体できる、などと条例又は法の制定(改正)を防災・防犯上の観点から促していただきたい。
		P.19で回答
20	公共交通	コミュニティバス、のりあいタクシーについて、高齢者の多い地域への配慮が必要と思う。
21	公共交通	コミュニティバス・乗り合いタクシーについて、今春から新しい「のりた君」ができたが、地域住民からは使いづらいとの声が非常に多い。和賀地区は高齢化率が高く、広い地域で交通手段の確保が必須。高齢になって免許返納を家族などに勧められても、返納できず、交通事故を起こしている。高齢者が地区内の施設、バス停に限らず、ロッキーやジャスコに行けるように見直しをしてほしい。
22	公共交通	乗り合いタクシーが使いづらい。
23	都市整備	珊瑚橋の歩道、水はけが悪い。施工業者の責任とか、市の責任はないのか。雨の日は歩行に支障をきたします。スポンジマットを敷いてください。
24	都市整備	市道の老朽化が進んでいるので市街地ばかりでなく、遠隔地にも手を入れていただきたい。
25	都市整備	駅東口側に交通信号機を是非議員の力で設置を。
26	都市整備	住宅のミニ開発で、出入り口が一つ(行き止まり)のところが見受けられる。防災上、開発に当たっての業者指導又は指導での整備すべき。(想定外の災害が起きる)
27	都市整備	展勝地展望トイレに行く遊歩道、昨年完成したばかりなのにひび割れ。もうすぐ雑草が生え、ひび割れが拡大すると思われる。施工に問題ないのか。
28	都市整備	総合的なまちづくりについて、27区中里分8地割は宅地化が進んでいる。福祉部の皆さんが、住居表示がなされず、帳面改正がされていないため、要支援者等の把握が困難になっている。都市整備部には、早急に対応していただきたい。
29	都市整備	宅地造成する際は、宅地化による危険個所の柵設置や街灯、消火栓、ごみ集積所設置等、開発業者の負担による設置や指導を行ってほしい。

ご意見等一覧(政策提言テーマ関連)

次のとおり、たくさんの御意見等をいただきました。

このうち議会からの回答がある御意見等を赤枠で囲っています。

回答は赤枠に記載のページをご覧ください。

No	テーマ分類	詳細
30	都市整備	街路樹の管理が不十分である。
31	農業	農業の課題を積極的に取り上げてほしい!!
32	農業	農村地域の再生
33	農業	農地の借り手がない。兼業農家でもやれる施策を考えてほしい。
P.15-16で回答		
34	観光	展勝地から国見山の歴史的価値を掘り起し、観光地化を目指してはどうか。
35	工業団地	東芝メモリについてトラックの交通量が多くなっています。高齢者、子どもの安全を見て改善してほしい。
36	教育	文科省から、これからの学校はコミュニティスクール化(保護者や地域のニーズを反映させるために地域住民が学校運営に参画できる仕組みや考え方を有する形態のこと)となるので、と大学でお話があり、これからの学校の先生となる生徒たちはそれに合わせて勉強するとの事です。減らすのではなく、未来のためにただ減らすだけでなく、地域住民に説明をきちんとしてほしいです。(大学生と一緒にワークショップがあってもいい)
37	教育	通学バス代10万円かかっている家庭があるとの事です。どうかしてほしい(義務教育の子育て中)
38	教育	バス通学に関しては、無料にしてほしい。3人の子供がいる人は10万必要となる地区もある。
39	教育	飯豊小PTAより、小中学校の通学のバス代を無料にしてほしい。
40	教育	小学校スクールバス運行について補助がされていない地域があるので、補助してほしい。
41	教育	教育にお金をかけてほしい。削るのではなく、質を良くしてほしい。(教育費が減って、サポートの先生がいなくなって大変です。)
42	教育	子どもの教育費の助成を多くしてほしい。小1~中3の就学支援金の対象となる収入基準額を500~600万に下げしてほしい。
43	教育	学校給食は教育なので民間に任せず、行政できちんと責任を持ってほしい。過去民間で失敗しているので心配です。
44	教育	和賀西小、笠松小の統合問題。和賀西小側の意見には、何故聞く耳を持ってくれないのか。和賀西小側の地域住民、PTAは新校舎建設について誰も納得していない。税金のムダ使い。
P.18で回答		

ご意見等一覧(政策提言テーマ関連)

次のとおり、たくさんの御意見等をいただきました。

このうち議会からの回答がある御意見等を赤枠で囲っています。

回答は赤枠に記載のページをご覧ください。

No	テーマ分類	詳細
45	教育	一部の出た意見について、和賀西小をそのまま残す案に対して疑問を感じます。本当に将来の子どもたちのことを考え、本当にこれからの若者たちのことを考えた時に正しく北上市教育員会が進めている案に強く賛成します。それ以外ないと思います。
		P.18で回答
46	教育	和賀西小学校の統合に関して、和賀西小学校の建物を利用しない理由は何か。
47	教育	和賀西小学校が統合して新しく新たな場所に立て直す意味は？現在の校舎施設状況や通っている児童数の実態を理解していないように感じる。また教育委員会は、初めの段階から地域住民への説明が全く不足している。地域住民であるにも関わらず、議会だよりを見て初めてこの問題を知った。
48	教育	笠松小学校の耐震について、最初から耐震不足だから西小との統合ありきの話になっている。耐震補強についての議論が全くない。また統合するにしても急な話であり、今後、先生方や児童、保護者への対応が全くみえない。
49	教育	最初から和賀西小と笠松小を統合した小学校建設ありきである。
50	教育	和賀西小の校舎はまだ利用できる。新たに小学校を建設する意味が分からない。
51	教育	教育委員会は、和賀西小学校側の意見をもっと聞いてほしい。西小の跡地利用についても何も説明がない。説明不足。
52	教育	西小の父兄としての意見ですが、笠松小の児童受け入れは出来ると思う。
53	子育て	学童の保育料金が、保育園料金より高いです。
54	子育て	子どもたちが遊ぶ公園に遊具が少ない。親が見守るために、屋根付の見守る場所が欲しいと思う。
55	子育て	児童手当、上げてほしい。1人目15,000円、2人目20,000円など、3歳からは減らさないでほしい。
56	子育て	児童手当が子供が大きくなると下がるので、下げないでほしい。(学年が上がるとお金もかかるのに、児童手当が下がるので)
57	子育て	第3子欲しいが、お金がかかるので諦めなければならない！このままでは、少子高齢化に歯止めがかからない。
		P.14で回答
58	公費医療	医療費無料化を18歳までにしてほしい。国保保険料を下げしてほしい。

ご意見等一覧(政策提言テーマ関連)

次のとおり、たくさんの御意見等をいただきました。

このうち議会からの回答がある御意見等を赤枠で囲っています。

回答は赤枠に記載のページをご覧ください。

No	テーマ分類	詳細
59	長寿介護	介護保険料が増えていくのは健康な私にとって困る。 今のところ
60	長寿介護	高齢者対策として、高齢者アパートなど増やしてはどうか。
61	長寿介護	高齢化が進んでいるが、健康寿命を延ばすための市の取り組みは。
62	長寿介護	高齢者同士の老々介護や高齢者への介護をした際に、介護した方へ何かメリットというか、そういった取り組みをされている自治体があると聞きましたが、当市でもそのような取り組みを考えていないのか。
63	ごみ	「資源ごみ」を自宅まで回収する時代は来ますか？この時も考えている一人です。
64	鳥獣被害	朝・夕に住宅地の木にむく鳥が大量にいるので何とかしてほしい。(木を切るわけにはいかないのか)検討してください。堤ヶ丘2丁目
65	市政全般	市のレベルアップを市に提言してもらいたい。
66	人口問題	市の人口問題
67	人口問題	中心から離れているので人口減少が進み困っている。(稲瀬地区)
68	人口問題	転入者増への対応はどうしているのか？
69	インフラ整備	提言にとどまるのであれば、議員の仕事として緩い。インフラの整備については議員としての立案を具体的に出して欲しい。
70	インフラ整備	インフラ資産マネジメント、学校の適正配置(統廃合)など、もっと市民に見える化してほしい。現在市当局の判断材料はあるのか。どこまで進んでいるのか。進んでいるのであれば地域の声も聴いてほしい。
71	公共施設複合化	小学校を統合するなら地区交流センターも併設した方がよい。地区の拠点になる施設にしてほしい。高台を基本に、幼保も含めた大きな考え方をすべきではないか。
72	祭りの補助	火防祭の補助を考えてほしい。
73	議会対応	議会提言について、当局の回答をみると想定内の回答になっている。また、議会として提言をまとめる際に先進地視察や、先進理論を学んでいるのか。この当局の回答に対して、議会としてどう考えていますか。

(2)市民と議会をつなぐ会に関すること、
議会活動に関すること

次ページからは、アンケートでいただいたご意見・質問等のうち、市民と議会をつなぐ会に関するもの、議会活動に関するものを一覧でご紹介し、29ページからは議会からの回答をお知らせします。

ご意見等一覧(市民と議会をつなぐ会について、議会活動について)

No	内容
1	ワークショップの時間が足りない。
2	ワークショップが短かった。
3	ワークショップでなくても良い。
4	ワークショップはきらい。
5	ワークショップは何度やっても慣れない。
6	ワークショップではなく、意見交換にしては。
7	ワークショップは苦手。話し合ったことを議員さんがまとめるともっとより良い意見が出ると思う。お疲れ様でした。
8	ワークショップについて、リーダーの進行を上手に。私語が多い。
9	前回、ワークショップで記入したら、誰だこれを書いたのは！と高齢の参加者から言われました。ワークショップの仕組みをあらかじめ伝える説明不足だと思うので、誰が記入したかどうか言われないうようにしてほしいです。
10	担当議員さんには、この方式でのワークショップの意義をきちんと理解して進めてもらいたい。
11	会場で短時間の説明では分からない。
12	和室ではなく、イス・テーブルで行いましょう。
13	つなぐ会の開会は、もっと繰り上げてほしい。
14	会の参加者に若い人達が少ないと思う。
15	若い人がいると良かった。お疲れ様でした。
16	この会にも、女性の参加が少なすぎる。地域での声かけ、周知が必要である。この会の位置づけがよく分からない人も多いと思う。
17	議員も出席しておられるので地域の住民の要望、意見を取り上げる時間が欲しかった。
18	それぞれの地区の課題も取り上げた方が良い。
19	議員報酬の方がテーマの様であった。地域のことも話し合っほしかった。
20	テーマ内容を事前に知らせてほしい(ワークショップ)
21	事前に「本日の内容」について、ざっくりと説明を欲しかったです。予習とか、意見のまとめとかでももう少し話ができたと。
22	テーマが決まっているなら、事前に広報しておくべき。予め考えると、そのテーマなら参加するという人もいたかもしれない。
23	地域の人との意見交換を多くしてください。
24	その地域(地区交流センター単位)ごとに課題となっているテーマで意見交換、ワークショップをするべき。
25	政策提言の説明は、一方的で、内容に関する質疑が出来なかった。
26	政策提言の説明について、具体性に欠けていて分かりにくかった。
27	交通機関について質問したかった。市政座談会についてもお願いしたいことがあった。
28	今回のテーマは非常に良かったと思います。ご苦労様でした。
29	定期的に市民と議会をつなぐ会をやってほしい。とても参考になりました。ありがとうございます。
30	チョコチョコやってほしい!!
31	本日のような会を続けてほしい。
32	いつも大変ご苦労さまです。今後益々のご活躍を御祈念申し上げます。

ご意見等一覧(市民と議会をつなぐ会について、議会活動について)

No	内容
33	よく市民から、北上市のまちづくりや行政執行等について不満の声を聞いている。これは行政が悪いのではなく、行政の施策を議会が理解し、議決をした(予算など)から執行したので、議決した議会に責任があると思う。もっとチェック機能を強化してほしい。
34	議会の討論が、再質問が少ないせいか、不活発に感じる。行政(市当局)と議会は車の両輪。議員側の対応が弱く、緊張感が感じられない。市長側のペースで血税が使われているように思う。市民の思い、要望が反映されていない。なお一層の議員側の奮起を期待します。
35	「住みよさランキング」の第1位について、リサーチ会社の結果だけでなく、市民からもっとソフト面に関わるアンケート等を取る必要はないのか。自信を持って！ コミュニティの高齢化が由々しき事態である。議員さん達にももっと心配してほしい。 市職員の地域参加について
36	市議会だよりをもっと読むようにした。
37	憲法15条第2項 公務員の選定については成年者による普通選挙を保障する。 すなわち、国会・県議会・市議会(町村議会)の選挙で選ばれた議員の方々が『公務員』です。行政機会(役所)の職員さん方は(地方/国家)『公務吏員』ということが正しいです。議員の皆様お忘れなく！
38	黒西小学校の減少により、残念です。北小学校より西小に来るように。
39	私たちはいずれ皆老いていきます。例えば障がいを持っていらっしゃる方に優しいインフラ整備や社会にしていくと、結果皆が暮らしやすい世の中になるのではないのでしょうか。子どもたちが減っていくと思われませんが、その子達が大人になった時に税金を納めてよかったと思えるような市であってほしいです。
40	広報等で議会活動報告は読んでいます。以前は地元におりませんでしたので、過去の状態は分かりませんが、今は議会の情報を市民に伝えたいという熱意は感じています。頑張ってください。
41	東芝関連の情報調査をもっと発信してほしい。
42	議会をケーブルテレビで放送をお願いします。
43	市民の代表として頑張ってください。
44	議員の皆さん、市の発展のために頑張ってください。地方の発展のためにもよろしくをお願いします。
45	ご苦労様でした。
46	北上市議会では廃案となった、核の廃棄が国連で採択されました。平和についても大いに議論し、戦争のない日本国北上市にしてください。
47	地域代表の市議ではなくても、地域の課題を聞き、把握してほしい。
48	良いことです。これからもどんどん政策提言して行ってほしい。
49	政策提言を活発に行うことから、議会をもっと知ってもらえるのではないかと。
50	議員皆様の増々のご活躍を！
51	北上市の将来を見据えて積極的に地域に入り、意見を吸収してください。議会議員活動感謝申し上げます。

ご意見等一覧(市民と議会をつなぐ会について、議会活動について)

No	内容
52	女性・男性が同等に(男女共同参画)の思想・理念がすべての施策の根本にあるかどうか、常に念頭において議会運営すべき!
53	小学校、中学校、高校の授業料を検討してほしい。 介護報酬を上げて欲しい。働く人が足りないです。
54	若い世代に議会を知ってもらえるよう議会でも取り組むべき。
55	甲電を廃止すれば支出負担が軽減する。



議会から次のとおりお答えします。

1 意見交換の形式について

挙手した方や代表の方だけが発言や質問をする形式ではなく、ワークショップ形式を採用している主な理由は、次のとおりです。

- ・グループの全員が順番に発言するため、たくさんのご意見を頂けること
- ・ふせんに書くことで意見を共有しながら話し合いできること

市民と議会をつなぐ会当日の限られた時間の中で、お越しいただいた皆様全員からたくさんのご意見をお聞かせいただけるよう、今後も意見交換の形式について研究します。また、意見交換をスムーズに進行し、充実した内容となるように、進行役である議員の資質向上に努めます。

2 若い世代や女性の参加について

議会としても、若い世代や女性の参加者が少ないことは課題と認識しています。周知のあり方を見直すとともに、若い世代や女性を対象としたテーマや会の形式について、引き続き研究に努めます。

3 テーマについて

各地区や各種団体など、意見交換の相手先に希望をお聞きしてテーマを選定する場合や、地域や団体に関係なく市民の皆様から広くご意見をお聞きしたいことをテーマとする場合などがあります。

テーマ以外のことも発言できる時間を設けるなど、参加した皆様からご意見を頂けるように努めます。また、意見交換が充実したものとなるよう、テーマ、議会からの報告事項など、事前の周知方法を検討します。

4 議会活動について

アンケートの自由記述欄に対し、多岐にわたる御意見・御感想等を頂きまして、誠にありがとうございます。今後の議会活動の参考とし、議会をより身近に感じていただけるよう取り組んでまいります。